

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 鷺別公民館整備事業
-------------------	------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる
施策	1	市民の主体的な学習の推進
小分類	2	生涯学習環境の充実
主要な施策	1	生涯学習の場の確保と充実
事務事業番号	009	事務事業コード 51121009 事業開始年度 平成 2 2 年度 事業終了年度 平成 2 2 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	鷺別公民館整備事業費
------	------	------------	------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 鷺別公民館の老朽化した施設を整備し、市民が安心・安全に利用できるようにするほか、施設の延命化を図る。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> 平成 2 2 年度整備内容 テニスコートフェンス改修修繕 2 階中ホール照明器具・安定器取替修繕 煙突修繕 暖房機器修繕 暖房施設改修工事 ホール音響機器 ハウリング制御器
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 老朽化した施設の修繕を行い、延命化を図るとともに、市民が安心・安全に施設を利用することができるようになった。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	鷺別公民館年間利用者数	人	目標値	36,000				
			実績値	35,404				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称 地域活性化・きめ細かな臨時交付金	千円	11,115					0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円	7,000					0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	88					0
合 計			18,203	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費	職 員	千円	664	0				
	嘱 託 員	千円	0	0				
	臨時職員	千円	0	0				
	合 計		664	0				

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 多くの市民が利用する施設であり、不具合箇所の修繕も含め、利用しやすい環境を西部することは、公共施設の管理者として必要である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 老朽化した多くの施設の整備を行うことができ、施設の延命化を図ることができた。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 今後においても、老朽化した施設の整備を行うことにより、利用しやすい環境を確保することができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 施設の老朽化が進んでいるため、簡易補修では対応できない箇所も増加している。今後とも必要最低限の整備は必要なことからコスト削減は難しい。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成22年度終了事業
-----	----------------------	------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）